

目標

- ① 現代語訳を参考にして、作者の好きな時間帯と好きなものや様子を季節ごとにまとめられたか。
- ② 作者の表現のしかた（文章の書き方）の特徴をまとめられたか。
- ③ 自分の好きな時間帯や好きなものや様子を、季節ごとに書き出せたか。
- ④ 作者の表現のしかた（文章の書き方）にならない、自分の季節感を表す文章（自分流「枕草子」）を書けたか。

1 作者と作品について、教科書の「作者」「出典」の説明を参考にして次の表を完成させよう。

清少納言	作者名（よみがな）	時代	父親・仕えた人
平安時代中期	父 親	仕えた人	清原元輔（百人一首 ちぎりきな）
	父 親	仕えた人	中宮定子（一条天皇の皇后）

時刻を表す言葉

資料の納得！

「あけぼの」とは、空のどんな様子を表すのだろうか。季節によっても見え方は異なるが、標準的な時間帯は下の図のようになる。旧暦と新暦で季節がずれている点も注意しよう。

季節	旧暦での月	月の名前
冬	一月	睦月
冬	二月	如月
冬	三月	弥生
春	四月	卯月
春	五月	皀月
春	六月	水無月
夏	七月	文月
夏	八月	葉月
秋	九月	長月
秋	十月	神無月
冬	十一月	霜月
冬	十二月	師走

古時刻	時刻	現在	時を表す古語
朝六ツ	6時	明け方	ありあけ
朝七ツ	7時	朝	つとめて
朝八ツ	8時	朝	あけぼの
朝九ツ	9時	朝	あかつき
暁七ツ	7時	朝	あかつき
暁八ツ	8時	朝	あかつき
暁九ツ	9時	朝	あかつき
暁十ツ	10時	朝	あかつき
暁十一ツ	11時	朝	あかつき
暁十二ツ	12時	朝	あかつき
暁十三ツ	1時	未明	あかつき
暁十四ツ	2時	未明	あかつき
暁十五ツ	3時	未明	あかつき
暁十六ツ	4時	未明	あかつき
暁十七ツ	5時	未明	あかつき
暁十八ツ	6時	未明	あかつき
暁十九ツ	7時	未明	あかつき
暁二十ツ	8時	未明	あかつき
暁二十一ツ	9時	未明	あかつき
暁二十二ツ	10時	未明	あかつき
暁二十三ツ	11時	未明	あかつき
暁二十四ツ	12時	未明	あかつき
暁二十五ツ	1時	未明	あかつき
暁二十六ツ	2時	未明	あかつき
暁二十七ツ	3時	未明	あかつき
暁二十八ツ	4時	未明	あかつき
暁二十九ツ	5時	未明	あかつき
暁三十ツ	6時	未明	あかつき
暁三十一ツ	7時	未明	あかつき
暁三十二ツ	8時	未明	あかつき
暁三十三ツ	9時	未明	あかつき
暁三十四ツ	10時	未明	あかつき
暁三十五ツ	11時	未明	あかつき
暁三十六ツ	12時	未明	あかつき
暁三十七ツ	1時	未明	あかつき
暁三十八ツ	2時	未明	あかつき
暁三十九ツ	3時	未明	あかつき
暁四十ツ	4時	未明	あかつき
暁四十一ツ	5時	未明	あかつき
暁四十二ツ	6時	未明	あかつき
暁四十三ツ	7時	未明	あかつき
暁四十四ツ	8時	未明	あかつき
暁四十五ツ	9時	未明	あかつき
暁四十六ツ	10時	未明	あかつき
暁四十七ツ	11時	未明	あかつき
暁四十八ツ	12時	未明	あかつき
暁四十九ツ	1時	未明	あかつき
暁五十ツ	2時	未明	あかつき
暁五十一ツ	3時	未明	あかつき
暁五十二ツ	4時	未明	あかつき
暁五十三ツ	5時	未明	あかつき
暁五十四ツ	6時	未明	あかつき
暁五十五ツ	7時	未明	あかつき
暁五十六ツ	8時	未明	あかつき
暁五十七ツ	9時	未明	あかつき
暁五十八ツ	10時	未明	あかつき
暁五十九ツ	11時	未明	あかつき
暁六十ツ	12時	未明	あかつき
暁六十一ツ	1時	未明	あかつき
暁六十二ツ	2時	未明	あかつき
暁六十三ツ	3時	未明	あかつき
暁六十四ツ	4時	未明	あかつき
暁六十五ツ	5時	未明	あかつき
暁六十六ツ	6時	未明	あかつき
暁六十七ツ	7時	未明	あかつき
暁六十八ツ	8時	未明	あかつき
暁六十九ツ	9時	未明	あかつき
暁七十ツ	10時	未明	あかつき
暁七十一ツ	11時	未明	あかつき
暁七十二ツ	12時	未明	あかつき
暁七十三ツ	1時	未明	あかつき
暁七十四ツ	2時	未明	あかつき
暁七十五ツ	3時	未明	あかつき
暁七十六ツ	4時	未明	あかつき
暁七十七ツ	5時	未明	あかつき
暁七十八ツ	6時	未明	あかつき
暁七十九ツ	7時	未明	あかつき
暁八十ツ	8時	未明	あかつき
暁八十一ツ	9時	未明	あかつき
暁八十二ツ	10時	未明	あかつき
暁八十三ツ	11時	未明	あかつき
暁八十四ツ	12時	未明	あかつき
暁八十五ツ	1時	未明	あかつき
暁八十六ツ	2時	未明	あかつき
暁八十七ツ	3時	未明	あかつき
暁八十八ツ	4時	未明	あかつき
暁八十九ツ	5時	未明	あかつき
暁九十ツ	6時	未明	あかつき
暁九十一ツ	7時	未明	あかつき
暁九十二ツ	8時	未明	あかつき
暁九十三ツ	9時	未明	あかつき
暁九十四ツ	10時	未明	あかつき
暁九十五ツ	11時	未明	あかつき
暁九十六ツ	12時	未明	あかつき
暁九十七ツ	1時	未明	あかつき
暁九十八ツ	2時	未明	あかつき
暁九十九ツ	3時	未明	あかつき
暁百ツ	4時	未明	あかつき



つとめて 広範囲に明るくなり、太陽の明るさが強く感じられる。  
 ありあけ 5～6時で、明るさが広がり、木の姿もはっきり見える。  
 あけぼの 4～5時で、しらじらと明け始めている。  
 あかつき 地平線にほんの少し明るさが見える。

撮影・野口香一

2 次の言葉を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書こう。

歴史的仮名遣いから現代仮名遣いへの直し方

- 1 語頭以外の八行の音「は・ひ・ふ・へ・ほ」は、ワ行の音「わ・い・う・え・お」に直す。
- 2 ワ行の「ゐ・ゑ・を」は、「い・え・お」に直す。
- 3 「au」の音は「o」、「u」の音は「y」、「eu」の音は「yo」と読むことを踏まえて直す。
- 4 ほとんどの場合「ぢ」は「じ」、「づ」は「ず」に直す。
- 5 「行かむ」などの「む」は「ん」と直す。
- 6 「くわ」は「か」、「ぐわ」は「が」と直す。

(ようよう) (やまぎわ) (やみもなお) (とびちがいたる) (おかし)  
 ① やうやう ② 山ぎは ③ 闇もなほ ④ 飛びちがひたる ⑤ をかし  
 (いとちこう) (とびいそぐさえ) (あわれなり) (いうべきにあらず) (ひおけ)  
 ⑥ いと近う ⑦ 飛びいそぐさへ ⑧ あはれなり ⑨ 言ふべきにあらず ⑩ 火桶

3 次の語句の意味を、現代語訳を参考にしたリ辞書を使ったりして確かめよう。

① あけぼの	夜明け	② やうやう	だんだん
③ あかりて	あかるくなって	④ たなびきたる	たなびいている
⑤ さらなり	いうまでもない	⑥ なほ	やはり
⑦ 飛びちがひたる	とびかっている	⑧ をかし	風情がある。(美への憧れ)
⑨ いと	とても	⑩ あはれ	しみじみとした趣がある。 (深い感動)
⑪ まいて	まして	⑫ つらねたる	連なつて
⑬ 言ふべきにあらず	いうまでもない	⑭ つとめて	早朝
⑮ ならでも	そうでなくても	⑯ つきづきし	につかわしい
⑰ ぬるくゆるびもていけば	(寒さが)ゆるんでくると	⑱ わろし	みつともない。

4 現代語訳を参考にして、次の□に補うことのできる一字の平仮名を書こう。

① 山ぎは□は、すこしあかりて ② 雨などが□が降るもをかし ③ 山の端□が□いと近う  
 ④ 日□が□入り果てて ⑤ 火などを□いそぎおこして ⑥ 炭□を□もて渡るも

5 現代語訳を参考にして、作者の好きな時間帯と好きなものや様子を季節ごとにまとめよう。

季節	時間帯
冬	明け方
秋	
夏	
春	
好きな「風情 <small>ふぜい</small> がある」「趣 <small>おもむき</small> がある」「趣深い」「よい」もの	

6 作者の表現のしかた（文章の書き方）の特徴を教科書、便覧、インターネットで調べ、まとめよう。

★枕草子は随筆集。

★「春は……。夏は……。」の書きだしなど作者の表現のしかた（文章の書き方）にならって、自分の季節感を表す文章（自分流「枕草子」）を書いてみよう。

①自分の好きな時間帯や好きなものを、清少納言をまねして現代文で季節ごとに書き出してみよう。

季節	時間帯	好きなものや様子
秋		
春		
季節	時間帯	好きなものや様子
冬		
夏		

**振り返り**

①現代語訳を参考にして、作者の好きな時間帯と好きなものや様子を季節ごとにまとめられたか。

(5・4・3・2・1)

②作者の表現のしかた（文章の書き方）の特徴をまとめられたか。

(5・4・3・2・1)

③自分の好きな時間帯や好きなものや様子を、季節ごとに書き出せたか。

(5・4・3・2・1)

④作者の表現のしかた（文章の書き方）にならない、自分の季節感を表す文章（自分流「枕草子」）を書けたか。

(5・4・3・2・1)